



学生防災リーダーに対する防災研修

市民向けならびに大巣 防災士養成講座開講

は、日本防災士機構の防災士資格取得講座を活用しています。防災に関する知識を殆ど持ち合せない市民でも、講座を受講し、認定試験をパスすれば、防災に関する最低限の知識と救命方法を身に付けることができます。

防災士資格取得者の活動

制度を活用して、毎年600名の防災士を誕生させています。また愛媛大学では、防災士試験を受験できる環境防災学を開講しています。この科目は、1週間の集中講義で2単位を取得でります。開講時期は夏季休暇中であります。松山市内4大学の学生向
けに開講しています。受講生は250名前後で、殆んどの学生が防災士資格認定試験を受けます。



学生防災リーダーが講師として小学校で防災授業

地域の避難誘導は 防災士が率先して

心は年に4,000回もの防災活動を行っています。このように松山市の防災活動は極めて活発で、防災まちづくり大賞など数多くの表彰を受けています。

逃げ遅れゼロプロジェクト

市内の防災士の幹部を中心にアンケート調査を行いました。その結果、300人から回答を得た中で避難した方は、僅か10人でした。防災士ですら避難した人は僅かに3%です。危険が差し迫っている中、行政がいくら避難指示を出しても、それに従う人は本当に少数です。土砂災害あれ、洪水灾害あれ、津波災害あれ、命を守るために最大の方策は、事前避難です。しかし、分かついても人は実践できません。せめて防災士資格を取得された方には、避難行動を取つて欲しいのです。

この取り組みでは、多くの方にマイ・タイムラインの作成を通して、避難指示が発令された時に率先して避難するという意識を持つもらうためのきっかけ作りです。一生を通して何十回も避難行動をとるような事態に遭遇することはあります。高々、数回から十数回程度でしょうか。それで命が守られます。避難指示が出れば、必ず避難するぞといいう決断を促すための講座です。それと共に講師を務める自主防災組織の防災士や教員防災士の意識の変化を促すことです。講師が率先避難の意識を持たないと、受講生に響くはずがありません。そこで、このプロジェクトの



学生防災リーダー指導によるジュニア防災リーダー育成のための防災キャンプの開催

松山防災リーダー育成センターの設立

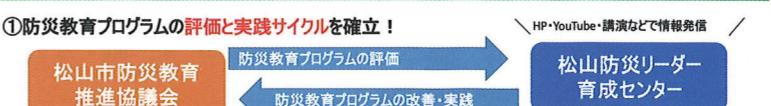
卷之三

各種取引

音の環

卷之三

全世代型防災リーダー育成プログラムの特色



②世代に合わせたプログラムで、小学生から高齢者まで途切れることなく防災学習



③全世代・職域で防災リーダー育成プログラムを展開！

